

# セミナー通信

—教育実習総合センター—



## 小学校教員養成特別コース 教育実践研究(アクション・リサーチ) 研究成果発表会開催

2月10日に平成28年度小学校教員養成特別コースの教育実践研究(アクション・リサーチ)教育成果発表会が3会場に別れて行われました。教育実習総合センターのコーディネーターも各分科会に参加し、3年間の研究成果に触れさせていただきました。どの発表も所属ゼミでの学修の成果であると同時に、連携協力校での実地研究やインターシップでの実践を踏まえて、教育現場に密着した内容で、教育実習総合センターとしても大変うれしく思いました。発表会の準備・司会進行はP1生が担当、実地研究期間中のP2生の姿も見られ、それぞれ、一年後の二年後の自分の姿を思い描いているようでした。



最後に、修学指導の先生方から講評がありました。どの先生の話にも、これまで綿々と積み上げられてきた先輩たちの教育実践研究を見つめてこられてきたがゆえの厳しくも温かいご指導であったように感じました。発表したP3生だけでなく、P1・P2生の皆さんの目にも熱く輝くものを見ました。ような気がしました。



## 授業実践開発コース 教育実践課題解決研究 最終発表会開催

2月10日・11日の二日間に渡って授業実践開発コース教育実践課題解決研究最終発表会が開かれました。



三回の中間発表会を経て練り上げてきた二年間の研究の集大成としての発表会に現職教員の大学院生と共に魚谷亮太、林裕祐、飯原崇仁、國安晃介、山下航、伊藤孝仁、馬越優、宮崎勝裕、古家友希穂、松田千穂、氏橋奏のストリート院生11名(敬称略)が発表を行いました。

発表会には指導教員、非常勤講師、院生OB、院生等、総勢70名が参加しました。

教育実践課題解決研究のテーマが小・中・高校における観察・開発・改善実習を重ねる中で、理論と実践の往還を繰り返して、修正が加えられてきました。それによって、より高度で実践的な研究発表会となり、フロアからも活発な質疑応答・意見が飛び交い、活気に満ちていました。

『授業を極める、学校現場とともに』のコースの合言葉通り、研究の有用性を確認し合い、今後のさらなる活躍を期待する声が高まった意義深い発表会でした。



## 教採情報 兵庫県

平成30年度の兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験の変更について公表されました。主な変更点(二部抜粋)をお知らせします。

①小学校・特別支援学校区分の一次選考試験(筆記)に英語を加える。

これまで、4教科で実施している小学校・特別支援学校区分の一次選考試験における筆記試験(教科専門)に英語を加え、5教科で実施する。なお、5教科とも概ね義務教育課程修了程度の内容とする。

②第一次試験における加点措置対象を拡大する。

○新たな加点対象(関係分)

- ・視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格所有者【20点】
- 加点される点数が変更となる対象
- ・臨床心理士の資格所有者【20点】(現行10点)

## 神戸市

【主な内容】(一部抜粋)

○第一次選考の筆記試験日程の変更  
二日間→一日のみで実施する。

○小学校教諭の試験区分に英語コースを新設  
従来の加点制度ではなく、新たに英語コースを新設する。

○第一次選考の専門教科で道徳を出題

○特別支援学校教諭普通免許状所有者又は取得見込み者に対する加点制度の新設

○英語による加点制度の変更

従来の中等高等学校教諭の英語及び特別支援学校の英語の試験区分での受験者に関する加点要件で、TOEICスコア945点を860点に変更する。

この他、岡山県、香川県、愛知県、埼玉県、堺市等から次々と平成30年度の教採概要が公表されています。自分の受験希望自治体については早めに必ずチェックをおきましょう。

## 小学校教員養成特別コース P2 実地研究Ⅰ・Ⅱが終了しました

### 実地研究での気づきを 今後の学修に活かそう!

昨年11月14日から始まった、4週間の実地研究Ⅰ(基本実習)、8週間の実地研究Ⅱ(発展実習)が2月16日で終了しました。この間、教育実習総合センターのコーディネーター8名も実習校を訪問し、先生方から実習生の様子を聞かせていただきました。

実地研究が始まってしばらくの間は、現場の空気や所属学級の児童に慣れるのに苦労した実習生も多かったようです。しかし、日を重ねていくにつれ、積極的に子どもたちに関わる姿が見られたり、現場の先生方とも協働して教育活動に取り組むようになったりと、徐々に実践力を高めていった頼もしい実習生の様子が聞かれました。

実地研究は、教育実習とは違って、メンターの先生から手取り足取り細かな指導をしていただくものではありません。実習生は自らの専門性を活かしながら、めあてを持って、実地に学び、メンターの先生から実践的な指導力や展開力を自ら学び取る積極的な姿勢が必要であることを実感したのではないのでしょうか。

長期にわたる実習から得た自分自身の気づきや課題をこれからの学修にしっかりと活かしていきたいでしょう。

☆実習校の校長先生はじめ、メンターの先生、教職員の皆様には、大変お世話になりました、ありがとうございます。

## 実習校訪問

P2



辻本百合恵



上田 遼



石本真士



富平雄基

## 実習校訪問 4か月にわたる現場実習で、少しずつ身につけてきた実践力が、顔の表情や児童とのやりとり、所作にあらわれていました。

P2



川井英嗣



寺坂慎吾



竹川祐人



芳野真里



林 知宏



宮下美幸



真田 優



裴 洵奏



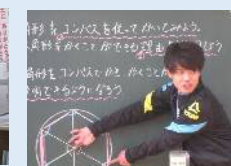
松本典子



中本凌輔



横川拓哉



土屋祥太



重松裕之



中山 健 (敬称略)

小学校教員養成特別コース